ねやがわ議会だより

ことだま

11
2026
【vol.268】



誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	2～6
議決結果一覧	7

9月定例会を開催

- 37件の議案を審議
- 一般質問で議員18人が登壇

委員会ライブ・録画配信を開始

発行 寝屋川市議会

編集 議会広報委員会 ☎072－824－0010（直通）

寝屋川市茶道協会の方々
（寝屋川市写真協会撮影）

9月定例会議案審議

会期 9月1日～9月28日（28日間）



市長提出議案 …… 36件
- 決　算……8件
- 報　告……3件
- 条　例……6件
- 予　算……5件
- その他…… 12件
- 人　事……2件

議員提出議案 …… 1件
- 市長専決処分事項の指定の一部変更 …… 1件

待機児童 ZERO プラン R9 の推進

【支出予定額（令和8年度～12年度）】3億6,480万円

年間を通じた待機児童ゼロを継続するため、保育士確保事業の充実を図る。



新たな支援事業
- 就労促進給付金…就職1年目に50万円
- 定着促進給付金…就職4年目に25万円（市内在住者は50万円）
- 保育士の子どもの保育料無償化（市内在住者限定）

議員5人が修正案を提出

就労促進給付金と定着促進給付金の支出予定額を増額する修正案が予算決算常任委員会と本会議で提出されましたが、審議の結果、賛成少数で否決となりました。

寝屋川市立市民交流中核施設の整備等

アドバンスねやがわ1号館5階に整備中の同施設の開設に向け、備品の購入などを行う。

議案の内容
- 工事請負契約の変更
- 備品の購入（テーブル・椅子等）
- 指定管理者の指定

連合審査会の開催

この施設は、市民の交流や生涯学習に加え、高齢者福祉に関連するため、文教生活常任委員会と健康福祉常任委員会が合同で審査を行いました。

連合審査会…特定の案件を関連する委員会が合同で審査する会議

総合センター跡地の整備

【契約金額】約6億8,268万円

総合センター跡地を小規模・多機能スポーツ広場に整備するため、建築工事と造園工事の契約を行う。



主な工事内容
- 建築工事…木製デッキ（観覧席）・トイレ・駐輪場など
- 造園工事…植栽・グラウンド・コートなど

主な議案の概要

令和8年9月定例会では、議決を要するすべての市長提出議案を可決等としました。

大阪維新の会議員団
保身ではない政治を

福田　篤志
奥川口　大輔
瀬戸　肇人
中川　健太
古田　尚央

東大利町防災街区整備事業について

問　令和9年度以降も国費について大阪府に対し必要な財源確保を求めていくのか。その上で事業完遂に向け財政面を含め必要な支援を続けていくという市の基本姿勢を伺う。

答　引き続き、財源確保に向け国との調整等を府に要望していく。本事業は地域の防災性の向上とまちづくりに寄与するものと認識しており、円滑な事業遂行及び事業完遂に向け、引き続き支援していく。

移動支援事業について

問　障害のある方の外出等を支える移動支援事業を持続可能なものとするため、見直しを検討すべきでは。

答　支援ニーズや利用状況に加え、事業所の運営状況やサービス提供体制の実態等を十分に把握し、安定的な事業運営とサービス提供体制の確保に向け、委託料の金額を含め、事業の在り方を検討している。

家族のような安心サポート事業について

問　新たな制度を実効性あるものにするために、行政と関係機関や事業所との役割分担を整理し、課題を共有できる連携体制が必要ではないか。

答　事案の適切な対応には、事業の関係機関等と課題を共有し、解決していくための体制が必要と考える。今後、関係機関の意見や他市事例も参考に連携の在り方を検討していく。

LGBTQ教育について

問　児童生徒がカミングアウトしなくても安心して過ごせる環境づくりへの見解は。

答　性的マイノリティの正しい理解と互いを認め合い尊重し合う人権意識を育むことが重要と考える。

問　当事者の児童生徒や保護者が躊躇なく相談できる体制整備が必要不可欠だが、対応状況は。

答　養護教諭や専門家を含むケース会議で対応を検討する等、一人一人の状況に応じた支援を行なっている。

残骨灰について

問　火葬後に残る「残骨灰」の取扱いが全国の自治体で注目を集めている。残骨灰から取り出した有価物を斎場の整備基金や福祉施策等、使途を明確にして市民へ還元してはどうか。

答　極めてデリケートな問題で、様々な課題があると認識しており、今後の方向性等の整理を進めている。

駅前を流れる寝屋川について

問　一年中、川一面に水草や藻が生い茂るなど寝屋川に異変が起きている。「臭いが気になる」との声も届いている。現状の把握と見解を問う。

答　一部区間で水草の増加を把握している。河川管理者の府に水草除去や水質改善の要望を行っており、引き続き、適切な管理を要望していく。


駅前を流れる寝屋川

市設備のメンテナンスについて

問　市設備の故障が多発し、材料不足が原因で修繕が長期化している。エスカレーターの有利な部品供給のため、フルメンテナンス契約できる保守業者の選定の検討を求める。また、現在のメンテナンスや点検の方法と故障を事前に把握し対応することが可能か伺う。

答　エスカレーターは、法定点検が義務付けられており、その結果を基に、復旧までにかかる期間、交換部品の有無、故障等の影響の大きさ等を考慮して、事前対応の必要性について総合的に判断している。

自治会への募金協力依頼について

問　令和8年6月議会でも行った市の自治会に対する各種募金への協力依頼を見直すべき質問について、子育て世代の誘引を目指す本市において共働き世帯に特に負担が大きい。募金の一部が地域へ還元されるが、元は市民のお金であり、市民に負担を強いてまでする意義が見いだせない。廃止すべきと考えるが見解は。

答　募金は社会全体の命と健康等を守るために使用される貴重なものだが、自治会の大きな負担になっていると認識している。自治会を通じた募金活動は全国的な課題であり、引き続き検討していく。

令和9年度予算編成方針について

問　「ブランディング戦略」とは具体的にどの戦略のことか。戦略の全体像や目的、求める成果などは市政運営方針以外に作成しているのか。

答　令和8年度市政運営方針で示した、新たな競争優位を生み出す政策により正のブランド構築に取り組む考え方を指す。令和元年度からこれまで一貫して取り組んできた方針であり、個々の取組の実績が積み上

公明党市会議員団

声を聴く。寄り添う。未来をつくる。

村上　順一
岡　由美
坂口安喜子
髙見　雄介
武田由利子
辻谷　恵一

がってきたことから、同運営方針において一体の概念として示したものである。

問 行政と市民の距離感を変えるとは具体的に何か。またどう測るのか。

答 市民サービスの在り方そのものを見直し、行政と市民との関係性を変えていくこと、両者のコミュニケーションの在り方を変えていくことを指す。距離感の変化は市への評価や市民満足度、施設等の利用者数等で表れてくると認識している。

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて

問 「認知症ヘルプマーク」に対する所感を問う。

答 当該マークが広く認知され、本人や家族が活用することで、徘徊時の声掛けなどにつながる可能性のある取組と認識している。



認知症ヘルプマーク

問 子ども達に認知症への理解を広げるツールとして「認知症こどもサイト」の活用を提案するが、見解を問う。

答 子ども達の認知症理解へのアプローチの一つとして、オンラインでの対応も含め、他市事例を調査・研究していく。

身寄りのない高齢者施策について

問 「家族のような安心サポート」事業が始まったが、事業者間における執行状況の相互確認の進捗と、定期的な履行状況の確認方法を問う。

答 今後、事業者との意見交換を行うなど、必要な連携や体制について検討していく。また、事業者に月次や年次で報告を求め、適切なサービス履行に向けた確認を行っていく。

スクールソーシャルワーカー（SSW）について

問 SSWの活動内容、雇用形態、勤務体制や回数について検証すべきと考えるが見解を問う。

答 その専門性がより発揮されるよう、配置方法・活用方法等について、不断に見直しを進めていく。

地域の通いの場・新しい居場所づくりについて

問 シニア世代の通いの場、子どもから大人、シルバー世代までの世代間交流等のひとつに、「eスポーツの活用等」の見解を問う。

答 「地域支え合い推進事業」において、地域の実情やニーズを踏まえながら必要な対応を検討していく。

障害サービス「移動支援事業」について

問 本市の資格要件がガイドヘルパー確保やサービス利用に影響していないかを問う。

答 従業者確保に影響する一つの要素であると認識している。既存資格の活用も含め、安定的なサービス提供体制の確保を検討していく。

発災後の生活環境の整備について

問 避難所生活における洗濯、入浴支援に対する具体的な取組を伺う。

答 指定避難所である全市立小学校に設置を進めている災害用対策井戸を生活用水としても活用し、洗濯の機会を図るとともに、洗濯・入浴の機会を確保するための拠点についても検討を進めている。

長期休業中の学校図書館の開放について

問 長期休業中、学校司書を配置した学校図書館の開放を提案するが、見解を問う。

答 スクールパークと合わせて、夏季休業中の子どもたちの居場所の在り方等、また、学校司書の活用についても引き続き検討していく。

プレハビリテーションについて

問 ねやちょ筋プレミアムと連携し、「がんプレハビリテーション」のモデル事業の実施について見解を問う。

答 ねやちょ筋プレミアムにおいて、下肢を中心とした筋肉量や筋力の維持・向上など健康づくりの取組は、プレハビリテーションの考え方と共通する部分もあり既存事業との連携の可能性を調査研究していく。

交通弱者対策ついて

問 新たな交通手段の早期導入の検討とは、どのような手段か。また、具体的なスケジュールなどを伺う。

答 現在、あらゆる交通手段の導入に向けた検討を行っており、具体的な内容が決まれば示していく。

手押し車の購入費用助成について

問　高齢者に「手押し車購入費用助成」の実施について、見解を問う。

答　介護保険サービスにおける歩行器のレンタル等で対応している。また本市では、「ねやちょ筋プレミアム」事業に取り組み、介護予防に力を入れるとともに、短期集中通所型サービスに取り組んでいる。

カラオケによる騒音対策について

問　市の騒音対策の今後の取組について見解を問う。

答　警察と合同で指導を行うなど連携していく。また、（仮称）迷惑防止条例を検討しており、どこまで関与ができるかが課題となるが、可能な限りしっかりと責任をもって対応していく。

自由民主党市会議員団
子どもたちが安心して遊び、学び、成長できる寝屋川へ

金子　英生
北川　千尋
北川　健治
森本雄一郎

打上川治水緑地の水遊びエリア

問　ポッツァは一定量水の貯まる部分や水温が高く感じる箇所では、水の濁りや汚れがあるという市民の声がある。実際の遊水部分で日常的又は定期的な水質検査をしていたのか。

答　大雨による土の流入等が多い場合は、施設利用を一旦停止し、清掃及び水の入替えを行い、適宜水質の確認を行っている。

問　事業開始直後から設計不足による被害や大雨による設置物への破損事案など様々な問題が発生した。利用者には認知的不協和に似た状態が起こっている。事業開始に当たり、調査分析し、コンセプトを固め、事業性の分析を行い、オペレーションを想定し、開始前のテストをすれば、実際に起きた問題は回避できたはずだが、テストはしたのか。

答　専門事業者からの安全性も踏まえ、提案を受けたものであり、運用開始前に事業者にて確認している。

問　来年度以降の展開において、サンクコスト（埋没費用）となるようなものはでてくるのか。

答　運用実績や利用状況を踏まえ、より魅力のある施設となるよう検討する。現時点では整備費用が無駄になることはないと考えている。

問　施設整備についての市の答弁に「安全」という言葉や観点がない。「安全」を付け加えるべきでは。

答　施設整備に当たり安全も考慮し整備している。

問　打上川治水緑地周辺のポテンシャル及び波及効果について、リニューアル後の打上川治水緑地には新たなプレイヤーが誘発されることも考えられる。今後もより良い利用を図るため、どのように意見を集約し反映していく考えなのか。

答　ポッツァの開設や「紅葉の林」の整備等、新たな価値や魅力の創出により、これまで以上に新たな公園利用者が誘引されると考えており、様々な視点の意見についてあらゆる機会を通じて把握し魅力向上につなげていく。


安心安全に遊べる環境整備に向けて

不登校について

問　本市の不登校児童生徒の状況は。

答　令和7年度は小学校65名、中学校145名であり、全国と同様に増加傾向である。

問　学校での対応として不登校とならないための魅力ある学校づくりや、未然防止の取組への見解は。

答　日々の授業や学校行事などを通じ、自己肯定感の向上や互いに認め合える人間関係づくり、児童生徒の居場所づくりとともに、子どもの小さな変化を見逃さず、早期の支援につなげる取組の充実に努めている。

問　中学校卒業後の支援についての現状の取組と効果は。

答　進学先等への引継ぎをきめ細かに行うとともに、連携した相談対応を行い、社会的自立につなげている。

問　保護者への対応について見解は。

答　保護者の悩みや不安を受け止め、保護者が一人で抱え込まないように配慮するとともに、意見交換を重ね、共通理解を図りながら子どもに接していくことは大変重要と考える。

声の議会だより・点字版議会だより
発行しています

目の不自由な方のために、誌面の内容を録音した「声の議会だより」、「点字版議会だより」を発行し、ご希望の方に無料で郵送しています。

ご家族やお知り合いの方などにお知らせください。お電話で申込みができます。

議会事務局　☎ 072-824-0010
（直通番号）

シン・ネヤガワ議員団

「全国共通した社会的課題」と「本市に特有の課題」に切り込む

板東　敬治
西尾　勝成
馬場　才
久野須賀子

グランマイスター倶楽部

問　生活のために仕事を掛け持ちするシルバー世代が、安心して就労できるよう、受講と就労が一体となった支援への見解は。

答　仕事を続けながら研修の受講も可能。就労した方に人材育成支援金を交付し、現場活躍を促進している。

問　単に労働力不足の穴埋めにとどまらない「多角的な効果」の検証は。

答　マッチングが成立し、登録者や事業所の感想、意見などを収集する中で、健康維持や社会参加、人材確保など事業の効果を把握していく。



シルバー世代の元気と活躍を後押しする健康就労

カスハラ対策義務化への対応

問　市役所だけでなく、学校、保育所など市民や保護者と接する職場も含め、市として統一した対応への体制が必要と考えるが見解は。

答　法に基づく措置を講じた上で、現在検討している（仮称）迷惑防止条例で罰則規定を設けるなど、実効性を高めていく。

市民の幸せ・市民中心DX

問　DXに先進的な茅野市では、市民が企画段階から参画する「市民中心DX」を掲げている。高齢化や防災の問題に対応するため企画段階から市民が参画する必要性への見解は。

答　課題解決につながるデジタル技術に関する知見や活用方法を地域社会と一緒に考える人材や団体の把握に努めている。

萱島駅周辺まちづくりの展開

問　萱島駅周辺の都市計画道路の具体的な進捗スケジュールや周辺住民への説明・合意形成の見通しは。

答　萱島讃良線は、令和8年度の事業認可取得とし、準備を進めている。

問　事業認可に向けての課題は。

答　寝屋川の橋梁架け替えの河川管理者との協議や八尾枚方線の交差点の警察協議を行ってきた。今後、構造等の協議を検討していく。

大規模災害被害想定を再検証

問　南海トラフ巨大地震の被害想定では、全壊家屋の内、78.7％は火災が原因。これは、本市の特殊事情。消防の水源確保として、市と消防組合の取組は。

答　水源として耐震性貯水槽、防火水槽、学校のプール、河川や池等からの取水を想定している。

問　「道路の遮蔽による消防車両の通行阻害」が問題視されている。火災を前提とした道路啓開の対応は。

答　道路啓開のための重機や人員の確保について、事業者と災害応援協定の締結に向け協議を進めている。

問　延焼に対する消防車両台数の到着時間、燃え広がる広さ等の消火能力を踏まえた市としての対応は。

答　地震時の火災を防ぐための自助の重要性を周知徹底する。また、消防組合では、新しい消防技術、器具の改良などについての検討委員会を今年度設置した。

問　延焼によって避難所が使用できないケースの想定はしているのか。

答　発災の状況を勘案しながら、柔軟に対応していく。

委員会管内視察

総務都市創造常任委員会

日　程　7月27日（月）

視察先
- ポッツァ（打上川治水緑地内）
- 三井南町地内既存盛土等安全性把握調査箇所

◆視察参加者

委員長　金子　英生　　**副委員長**　瀬戸　健太

委　員
中川　健　　辻谷　恵一
村上　順一　　北川　健治
板東　敬治　　松尾　信次



文教生活常任委員会

日　程　8月5日（水）

視察先
- 教育支援センター
- 成美小学校分教室

◆視察参加者

委員長　福田　篤志　　**副委員長**　坂口安喜子

委　員
奥　大輔　　岡　由美
北川　千尋　　馬場　才
西田　昌美



日本共産党市会議員団

市民の多様な要求 実現させる市政に

中林　和江
西田　昌美
松尾　信次

補聴器購入補助の実施を

問 医師から補聴器が必要と診断されても経済的な理由で購入できない市民は、購入補助制度の対象になるか。また、制度の実施は可能か。

答 その通りである。



補聴器を装着している人のイラスト

基幹型包括支援センターの設置を

問 地域型センターを日常的に支援し、困難ケースを吸い上げて、地域課題の解決や市全体の高齢者の支援体制を検討できる基幹型包括支援センターの設置を求める。

答 現在の支援体制を活用し関係部署や関係機関との連携で対応する。

ケアマネジャーへの暴言・脅迫許せません

問 ケアマネへの暴言、脅迫、セクハラ等の禁止や業務範囲を伝える啓発資料の作成・周知を求める。

答 ケアマネの意見を聞きつつ、他市の取組等を調査・研究していく。

千里丘寝屋川線の住環境守る立場で

問 地域分断の対応等、地域の要望を府任せにせず、市が市民の住環境を守る立場で対応するよう求める。

答 要望を把握し、府と連携を図る。

防災・災害対応の拡充を

問 市民のための強靭な災害対応体制を築くため、市職員増員を求める。

答 引き続き、災害対応をも想定した適正な職員数を確保していく。

梅が丘地区で乗合い事業を

問 バス路線が廃止された梅が丘地区で乗合い事業の導入を求める。

答 あらゆる交通手段の導入に向けた検討をしており、路線延長による影響や代替手段の有無等、総合的に判断していく。

地域に子どもたちの水遊び場を

問 今後、新たに市内の公園等に水遊び場の設置を求める。

答 現在策定に向け取り組んでいる「公園のあり方計画」で示していく。

本会議・委員会の ライブ配信・録画配信を実施しています！

市議会で開かれる本会議と委員会の様子について、YouTubeによるライブ配信・録画配信を実施しています。いずれも市議会ホームページ**（右のQRコード）**から視聴できます。

議会だよりの誌面ではお伝えしきれない、議案の審議や一般質問の様子を御覧いただけます。

議会日誌

【8月】
4日　議会広報委員会
18日　幹事長会
19日　議会広報委員会
26日　議会運営委員会／幹事長会

【9月】
1日　議会運営委員会／本会議（第1日）／予算決算常任委員会全体会
2日　健康福祉常任委員会（※）
3日　文教生活常任委員会（※）／文教生活・健康福祉常任委員会連合審査会
4日　総務都市創造常任委員会（※）（※）各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催
7日　予算決算常任委員会全体会／議会運営委員会／議会広報委員会
14日　本会議（第2日）
15日　本会議（第3日）
16日　本会議（第4日）
17日　健康福祉常任委員会協議会
18日　文教生活常任委員会協議会
24日　総務都市創造常任委員会協議会
28日　議会運営委員会／本会議（第5日）

【10月】
6日　予算決算常任委員会健康福祉分科会
7日　予算決算常任委員会文教生活分科会
8日　予算決算常任委員会総務都市創造分科会
15日　議会広報委員会

９月定例会 議決結果一覧

議案番号	件　名	議決結果
認定第１～８号	令和７年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他７件）	閉会中の継続審査
報告第９～11号	令和７年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告（他２件）	報告終結
議案第 80 号	寝屋川市職員の退職手当に関する条例の一部改正	可　決
議案第 81 号	寝屋川市基金条例の一部改正	可　決
議案第 82 号	寝屋川市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	可　決
議案第 83 号	寝屋川市景観条例の一部改正	可　決
議案第 84 号	寝屋川市における東部大阪都市計画国松地区地区計画の区域内における建築物等に関する条例の制定	可　決
議案第 85 号	寝屋川市コミュニティバスの運行に関する条例の一部改正	可　決
議案第 86～90 号	令和８年度寝屋川市一般会計補正予算（第２号）（他４件）	可　決
議案第 91 号	工事請負契約の締結（総合センター跡地整備工事（建築工事））	可　決
議案第 92 号	工事請負契約の締結（総合センター跡地整備工事（造園工事））	可　決
議案第 93 号	工事請負契約の締結（緑風園解体工事）	可　決
議案第 94 号	工事請負契約の変更（生涯学習（多機能）施設整備工事）	可　決
議案第 95 号	工事請負契約の変更（打上川治水緑地再整備工事）	可　決
議案第 96 号	財産の取得（市民交流中核施設の整備に係る備品）	可　決
議案第 97 号	財産の取得（災害時用備蓄物資（ダンボールベッド））	可　決
議案第 98 号	財産の取得（災害時用備蓄物資（衛生用品セット及び日用品セット））	可　決
議案第 99 号	財産の取得（投票用紙自動交付機）	可　決
議案第 100 号	財産の取得（塵芥収集車）	可　決
議案第 101 号	指定管理者の指定（市民交流中核施設）	可　決
議案第 102 号	令和７年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分	可　決
議案第 103 号	公平委員会委員の選任	同　意
議案第 104 号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同　意
議員提案第４号	市長専決処分事項の指定の一部変更	可　決

予定　12月定例会の案内

本会議・委員会は午前10時を予定しています。議事の都合で変更される場合があります。

※11月26日に議会運営委員会が開催されます。

市議会を傍聴しませんか？

市議会で開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴の際、議案書等の貸出しを行っています。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。

日	月	火	水	木	金	土
11／29	30	12／1	2 本会議	3 健福	4 文教	5
6	7 総務	8 予算決算・議運	9	10	11	12
13	14	15 本会議（一般質問）	16 本会議（一般質問）	17 本会議（一般質問）	18 議運・本会議	19

健福：健康福祉常任委員会・分科会　**文教**：文教生活常任委員会・分科会
総務：総務都市創造常任委員会・分科会　**予算決算**：予算決算常任委員会全体会
議運：議会運営委員会　**協議会**：常任委員会協議会

議会だより印刷コスト１部 4.73 円（117,500 部発行）